

# 一般参考手本

八月

〈実用部〉

残暑の候 お元氣ですか  
お盆休みには、大文字流しを見に  
お掛けになります。帰りまじたら  
御連絡致しませうね  
氏名

〈鑑賞部〉

風 なつゆふ  
夏の夕暮は  
みそぎを  
夏のしずけ

風をよむならの小川の夕暮は みそぎを夏のしるしなりける

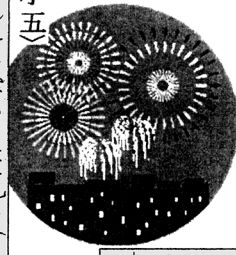
〈臨書部〉 風信帖

残暑赴此院此心  
望、舟、ある程  
空兼林上

覽／降赴此院、此所望所望。愚愚／不具、釋空海狀上

## 学生部参考手本

八月



〈小五〉

ドントなつた花火  
何百の赤い星  
一度にかわって青い星  
空いっぱい広がった  
小五名前

〈中学〉 〈入門〉

青春時代は  
知恵をみかく時であり  
老年はそれを  
実践する時である  
中学年名前

〈小四〉

向こうのお山に  
黒雲かかかれは  
もうすぐ来るよ  
夕立ちが  
小四名前



〈小六〉

うれしい夏休み  
工作や自由研究  
遊びの計画  
今年は何をしようかな  
小六名前

〈小三〉

夏体みに  
こん虫さいしゅうに  
出かけます  
小三名前



〈小二〉

日にやけた  
まつくろな  
かお  
小二名まえ

〈幼児〉

ひろいうみ  
ようなまえ

